

チーム名	跡見女子大・かわガールプロジェクト	大学・学部	跡見学園女子大学・観光コミュニティ学部	多摩川ステージ
プラン名称	TAMAGAWA STORY OF THE WATER	～多摩川を世界一のミズベリングステージにするために～		
リーダー名	中村 美保子	テーマ	多摩川の資源を活かした「観光まちづくり」	本選出場 【観光庁長官賞】
指導教職員名	篠原 靖			
メンバー名	今井友海 佐藤あすか 薮ノ下結愛 横尾遥花			

1、本企画のプラン概要

★本企画は、日常生活で身近になっている河川をベースに、多摩川流域に暮らしている人と人とのつながりを構築し、多摩川の魅力(生活文化、歴史、自然環境、河川空間など)を伝えていきます。そして、多摩川を一つの舞台とし新たなコミュニティを川で築きながら人々の生活がより楽しく、さらに経済的に都市活用できるような私たちのオリジナルプランを考えました。

★多摩川を上流域、中流域、下流域に分けそれぞれの地域の魅力や生活文化、課題を整理していきます。各エリアには、そこに暮らす人々がたくさんの関わりを多摩川と持っており、人と自然が共存しながら生き抜いているという壮大なストーリーを考えてまいります。



2、私たちがご提案する具体的な内容

これらのご提案をベースに次世代の新しい世界に誇るミズベリングの提案を多摩川で行います！！

私たちは、次世代の活用の仕方を考案し、世界一を目指した新しいミズベリングの世界を女子大生の視線でご提案致します。大胆なご提案として、多摩川を軸にした縦の横断的な交流と観光まちづくりをベースに多摩川流域に3万本の桜を咲かせる桜大作戦や全30万株のお花畑大作戦、流木の二次活用、多摩川で舟運による新たな都市間交通としての活用といった様々な切り口でプランを作成しました。

3、多摩川の現状と課題の分析

- ・少子高齢化による人口減少の問題
- ・河川イベントを実施する際の街全体としての回遊性の低さ、利便性が良いとは言えない
- ・下流域によるウォーターフロントとしての羽田空港や都心へのアクセスが遅れている

それは

日本の観光振興の弱点は広域観光としての連携不足！
多摩川全体のまちづくりのグランドデザインを打ち立て多摩川全体をブランド化させることを目指します。

4、多摩川流域を一つに繋げよう！大胆なご提案

多摩川流域の方の多摩川との関わりを横串に！

広域観光ブランド化

- ★多摩川世界一の3万本の桜大作戦！
- ★四季のお花畑大作戦！



跡見かわガールによる

多摩川ブランド鍋を展開

- ★多摩川沿岸特産物ブランド化「多摩川四季彩鍋」の開発



自然と健康志向のリサイクル

- ★多摩川ヘルス倶楽部の設立
- ★流木活用による多摩川BBQのブランド化



21世紀型！自転車によるシェアリングエコノミー

- ★30市町村の交流促進のための自転車による計画

各エリアに拠点を設けて、乗り捨て可能なシェアリング



舟運による、新たな通勤通学

- ★「新しい舟運大作戦」
- 河口から二子玉川までの舟運による都市間交通を目指して

舟道を確認し、水深を確保する！



5、経済波及効果

直接効果
約32億円

【仮説】

多摩川流域全体の人口:約425万人
425万人÷5%=約21万人

観光庁より一人当たり日帰り旅行消費額:1万5千円

多摩川を利用し川を活用してもらった人数

21万×1万5千=約32億

6、夢物語だけでは終わらせない！新たな産官学連携組織の確立

私たちの提案を夢物語だけでは終わらせないために、私たちはその実現に向けて、「TAMAGAWA STORY OF THE WATER」と称する多摩川広域観光DMOの組織化の確立します。

